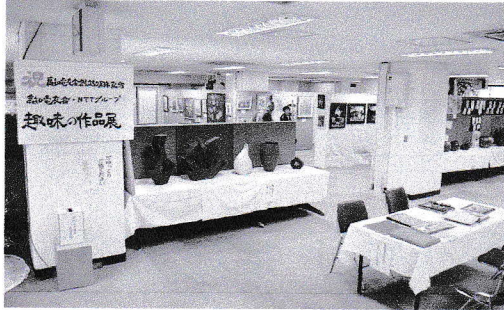


☆ 盛大に50周年記念趣味の作品展(高知)

高知電友会は3月1日から6日まで、創立50周年記念『趣味の作品展』を、高知市はりまや町のNTT西日本・高知東ビル1F特設会場で開催しました。

会場には会員が持ち寄った書道・手芸工芸作品・絵画・写真・絵手紙など150点余が展示され、期間中延べ530余名の会員や関係者が鑑賞に訪れ大いに賑わいました。

退職後もさらに腕に磨きをかけ、あるいは新たに挑戦して、趣味の作品制作に情熱を燃やしている会員が沢山おり、これまで高知県展をはじめ県内各地の市展などでも、毎年いろいろな分野で多くの入選者を輩出しています。ほのぼのとした手作り感溢れる作品が並ぶ一方、中には高知県展無鑑査や褒状受賞者・日展連続入賞作家の手織工芸品や書画・陶芸作品はじめ、その世界で高い評価を得ているまさに「芸術



《会員の皆さんの力作の数々》

作品」も並ぶという質の高さも誇れる作品展となりました。

公社時代の本社発行社内誌「業務」の表紙を飾った原画

(高知市樽見榎子さん作)や、

会員の回顧録や作品集、社内誌

「電信電話」創刊号(昭和24年発刊)を始め

としたバックナンバーなど、50年の歴史を振り返る懐かしい品々も展示されました。

これらの立派な作品・展示品にとっては申し訳ないことですが、限られた予算での開催とあつて会場設営も全て会員による手作り。

パーテーションや書庫等を利用するなど、智恵と工夫を総動員した展示となりましたが、

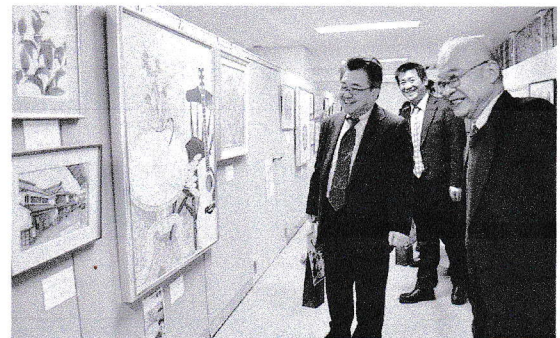
来場の方々からは「作品も会場も、準県展のような出来栄やねえ」との声も聞かれるほどの素晴らしい作品展となりました。

会場では「元氣じゃったかね」「続けて描きゆうがじゃねえ」と、久々の再会を喜び合う人々の輪があちこちに自然発生し、懐かし

い思い出話に花が咲く有意義な催しとなりました。

また会場の一角には即売コーナーが設けられ、実用的な陶器・自宅に飾りたい手芸作品・香り高い手作りパン・よさこいのDVDなどが並び好評を得ていました。そうそう、忘れてはいけませんが、酒国土佐に相応しく会員手作りのどぶろく酒(もちろん醸造許可を受けています)も飛ぶように売れていました。

今回の行事は電友会の本来の目的である、会員相互の親睦と融和に大いに貢献できたと確信します。



《熱心に鑑賞される来場者の皆さん》